

学校保健と保健所 地域保健との協働



愛知県岡崎保健所

所長 向山 昌邦 氏

国は二十一世紀における国民健康づくり運動『健康日本21』と親と子が健やかに暮らせる運動『健やか親子21』を展開中です。愛知県は二つの運動をまとめて『健康日本21あいち』計画を策定しています。すべての国民（県民）が生涯に亘って健康で生きがいを持った生活ができるように、二〇一〇年を目標とする計画を作ったのです。生活習慣（栄養・食生活、運動、休養、喫煙、飲酒、歯の健康）を改善して、病気（がん、心臓病、脳卒中、糖尿病）や、自殺の喪失を予防し、一人一人の健康づくりを学校、職場、地域、家庭などでみんなが支えあって推進して行くことを考えています。大切なことは、個々人が自分の健康に関心を持

教育随想



平成14年6月1日

6月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
愛知県岡崎保健所 所長 向山 昌邦氏	
この人に聞く	2
ディジュリドゥ奏者 三嶋 裕樹氏	
羅針盤	2
竜美丘小学校長 杉浦 正明	
ふれあい	3
秦 梨小 梅村 京子 矢 作中 吉川久美子	
特集	4
岡崎の気象観測 あした天気になあれ	
岡崎市の教育予算	6
お知らせ	8
フォト・ヒストリー	8
乙川での水泳指導（昭和42年）	
この本を	10

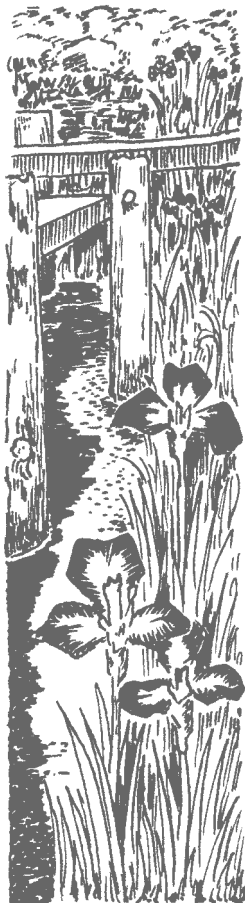
ち、運動、栄養、休養などの自分の生活習慣をチェックし、良くない点を改善し、健康づくりを実際に進めることです。単に知識として知っているのみではいけません。

岡崎保健所では管内の学校、職場地域の団体（老人会、栄養改善グループ）と連携して、この運動を進めています。その一環として、学校保健、学校教育とタイアップして、若年性糖尿病、慢性腎疾患教室や禁煙教室を始めています。また学校歯科

保健のモデル事業として、いくつかの小学校が進めているフッ素洗口を支援しています。

その他、結核予防や薬物（麻薬、覚醒剤、シンナー）防止、性教育、エイズ予防教室、学校給食、プールの衛生管理など、今後、教育委員会や学校と一緒に進めていかななくてはならない仕事がたくさんあります。どうぞよろしく願います。

（むこうやま まさくに）





太古の音楽の魅力伝える

世界最古の木管楽器
ディジュリドゥ奏者

三嶋 裕樹 氏

「吹いてみましょうか。」

三嶋さんが大事そうに布製の袋から出したのは、重量感のある一・五メートル程の木製の筒であった。オーストラリアの先住民アボリジニの民族楽器、ディジュリドゥである。シロアリが巣くいて、空洞化したユーカリの木を利用しているため、一つ一つの音色が違うようである。

ボー、ボー、と低くまろやかな音色が、あたりの空気を揺すぶって伝

わってくる。

「この音色は、赤ちゃんには母体の中の音に聞こえ、お年寄りには悟りの音に聞こえ、世代を超えて楽しんでいただけます。」

音色は、軽快なリズムに変わっていた。アボリジニの人たちが集ってダンスをするときにも吹くという。即興的なリズムや動物の鳴き声など、変化に富んだ演奏であり、自然に、そのリズムに合わせて呼吸をしている自分に気づいた。この楽器の響きが、人々の心を癒し、明日への活力を作り出すと言われるゆえんを感じ取れたように思う。

こんなすばらしい楽器をどうして我が物にすることができたのか。三嶋さんは、この楽器との出会いとなった十年前のオーストラリア旅行について懐かしく語ってくださいました。

「アボリジニの文化施設を訪れた



際、ジャプカイ族の人がこの楽器を演奏していたのです。独特なリズムと神秘的な音色にすっかり魅了されました。」

かつて連尺小学校に通学していたころ、プラスチック部に所属し、母親に買ってもらったトランペットを吹いた経験が、いつかディジュリドゥを立派に吹いてみたいという決意につながった。竹製の手作り笛で練習し、酸欠状態になりながらも、独学でこの楽器の演奏法を修得していったそうである。何週間もアボリジニの村に起居して、やっと手に入れたディジュリドゥである。

今では日本中の仲間と交流を深め、日本ディジュリドゥ協会名古屋支部長として、各種イベントや国際交流活動の場に招かれ、多彩な演奏活動を続けていらっしゃる。

これからも多くの人に、いや世界中の人たちに、日本人の吹くディジュリドゥのすばらしさを伝えたいと、夢を追う三嶋さんの瞳に少年時代の面影をかいまみることができた。

氏名 しみま ひろき
生年月日 昭和三十七年一月二十三日
住所 材木町一三



造形の喜びを

竜美丘小学校長

杉浦 正明

秋空の下、子供たちの作品が輝いている。

作品一つ一つの中に子供の心が見えている。

自分を表現する楽しさ、喜びがいっぱいに満ち溢れている。

決してまねすることのできない想像力があり、その子ならではの工夫と自信が伝わってくる。

市内の幼・小・中の子供たち約三万五千人の作品を集めた「造形おかしなっ子展」は、本年、三十九回目を迎える。全国、いや世界にも類を見ない地域に根づいた質の高い野外展として発展できたのは、何よりも子供を愛する先生、保護者など多くの方々のご支援のおかげである。額に汗し懸命に展示される姿、夜中に雨にぬれながら作品をビニルで保護される姿は本当に尊いものである。

十四人の力は無限大

秦梨小 梅村 京子

奈良の大仏の大きさを実感させたいと願い、五メートル近い実物大の大仏の顔を提示した。子供たちはその大きさに驚きの声を上げた。三年前に担任した卒業生十八人全員で作ったことを紹介すると、

「じゃあ、私たちが胴体を作って、完成させればいいじゃない。」との声。予想外の反応に面食らう。顔だけでも大変だったのに、座高十六メートルの胴体を作るなんて危惧したが、子供たちはすっかりやる気になっている。こうなったらとことうんやるかとゴーサインを出した。不織布を十九本つなぎ合わせることから始まった。あまりに長いので、途中でよじれたり、つってしまふ。「先生は修理やさんになるわ。」



子供が帰った後、一人でよじれを直す。ついでに難しい箇所のみシン縫いも進めておいた。

「先生、直してくれたんだね。」子供たちの感謝の声が照れくさい。輪郭を描く前の、下に敷く敷物の作成や、床についた塗料をその度ふき取ることも大変な作業だった。休日も返上し、首と合わせてついに大仏は完成。体育館いっぱいに広がった大仏を見て、歓声を上げる子供たちの顔は輝いていた。十四人の力は、計り知れないなとうれしく思った。



初めての協力

矢作中 吉川久美子

「これくらいのおおきさでいいかなあ。」

五月二日、初めてのアースワークで班長A男の胸は不安でいっぱいだった。ところが、いつもとは違うB子の真剣な姿がA男の不安を吹き飛ばした。二人の話し合いで作業の手順が決まり、皆がどんどん進んで動いた。A男のアイデアとB子の手際よい作業で躍動感あふれるサメが完



成した。

入学以来一か月、二人は教室の中でお互いにほとんど話をしたことがなかった。決まりに縛られることや勉強が嫌いなB子。何でも真剣に取り組む学級のリーダーのA男。

それまでの普段の生活では二人の接点はほとんどなかった。アースワークの準備でアイデアスケッチに取り組み始めてもB子はあまり乗り気ではなく、A男たちにまかせきりだった。アースワーク当日、B子の目に入ったのは、手にマメを作り、汗をかき、黙々と砂に取り組む仲間の姿だった。仲間の真剣な姿がB子の心を動かした。スコップを手に取り、夢中になって砂を掘り始めたB子にA男が話しかけた。B子はがんばりをみんなに認められ、皆と力を合わせる楽しさを知ることができた。

子供たちのたくましい行動力とみずみずしい感性を期待して昭和三十九年、東京オリンピックの年、一回展が籠田公園で開催された。以来、十回展からは東公園で、十五回展から菅生川河川敷で、二十二回展からおかざき世界子ども美術博物館でと幾多の変遷を経てきた。しかし、当初からの思いや願いは、今も変わっていない。

子供の造形活動にとって大切なことは、作品がどれ程優れたものであるとか、技術がどれ程巧みであるとかの優劣を競うものではない。授業の中でどれ程夢中になり、主題に向き合って自己表現をしたか、手やからだ全体の感覚を働かせ、思う存分取り組んだかにある。ものを作り出す喜びや表現する楽しさを味わう体験は、新たな発想や意味を作り出す感覚や満足感など、自分らしい生き方やあり方を育む大切な学習である。

今年度からの新しい教育課程の実施にともなって、図工・美術科の目標を一層吟味し、内容を精選しながら二十世紀にたくましく活躍するおかざきつ子を育んでいきたい。

今年も会場で家族の手を引きながら、精一杯自己表現をした作品に自信を持って語る子供の姿を見るのが楽しみである。

「風神雷神図屏風」秀学社：美術の表現と鑑賞より



あした天気になあれ

岡崎の気象観測

平成六年、岡崎市では少雨・渇水によって節水が呼び掛けられ、小中学校の水泳大会が中止になった。また、一部の地域では断水が続いた。古来より、天気とわたしたちの生活は、切っても切れない関係にある。

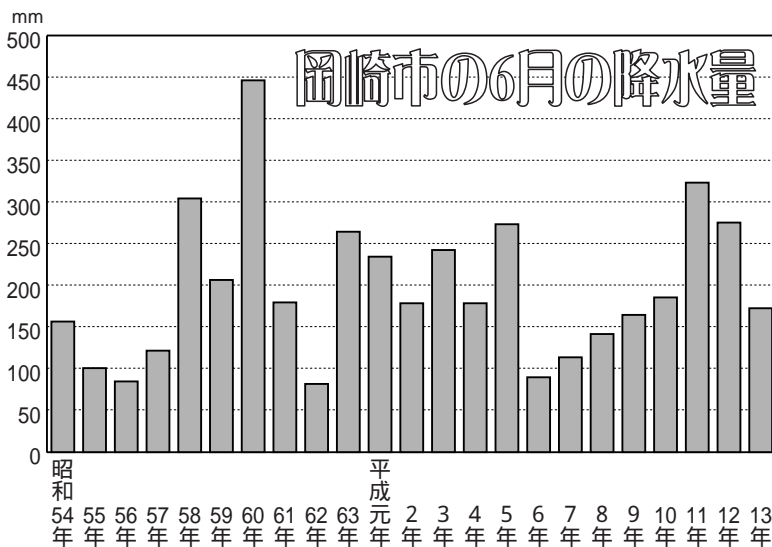
翌平成七年、民間の気象会社の予報を一般の人々へ提供することが認められ、ピンポイントで「岡崎の天気予報」を知ることができるようになった。

さて、岡崎の気象はどこで観測されているかご存知だろうか。岡崎には、主な気象観測施設が十三か所ある。そのうち名古屋地方気象台が管理する施設は愛知県立農業大学校にあり、ここでは降水量、気温、風向・風速、日照時間の主要四要素が一九七九年（昭和五四年）から観測されている。観測したデータは毎時、電話回線を使って自動で東京のアメダスセンターに送られ、そこから名古屋地方気象台をはじめ、民間気象団体など、データを必要とするところへ配信されるのである。

岡崎市が管理している施設は八か所ある。そのうち「消防本部」をはじめとするA群の五か所は、雨量データが三十分毎に観測され、市役所内の防災本部に電話回線を通じて送られている。

残りのB群の三か所では、降水量、気温、風向・風速、日照時間・日射量、地表温度、地中温度、湿度が観測されている。そしてこれらのデータや天気予報は、岡崎市のホームページで見ることができるようになっている。

観測システムの向上や情報メディアの発達などにより、正確になった天気予報を生活に密接に結び付いた情報として活用していきたいものである。



〈名古屋地方気象台提供資料より作成〉

▶ 秦梨小学校に設置されている気象観測施設





▲直径20cmの転倒まず型雨量計

愛知県立農業大学の観測施設
 広大な農地の中に設置された施設
 普段はあまり人目に触れることはない

岡崎の気象観測所	管理者
愛知県立農業大学校	名古屋地方気象台
国土交通省豊橋工事事務所岡崎出張所	中部地方整備局
岡崎保線区	東海旅客鉄道株式会社
西三河事務所	愛知県
岡崎土木事務所	
A 岡崎市消防本部	岡崎市
A 少年自然の家	
A 国民宿舎桑谷山荘	
A 矢作市民センター	
A 新香山中学校	
B 細川小学校	
B 秦梨小学校	
B 矢作南小学校	

〈『岡崎市地域防災計画附属資料（平成13年修正）』岡崎市防災会議作成より〉



▲観測したデータを送り出す有線ロボット気象計



▲地上1.5m（世界基準）の筒の中に納められた温度計

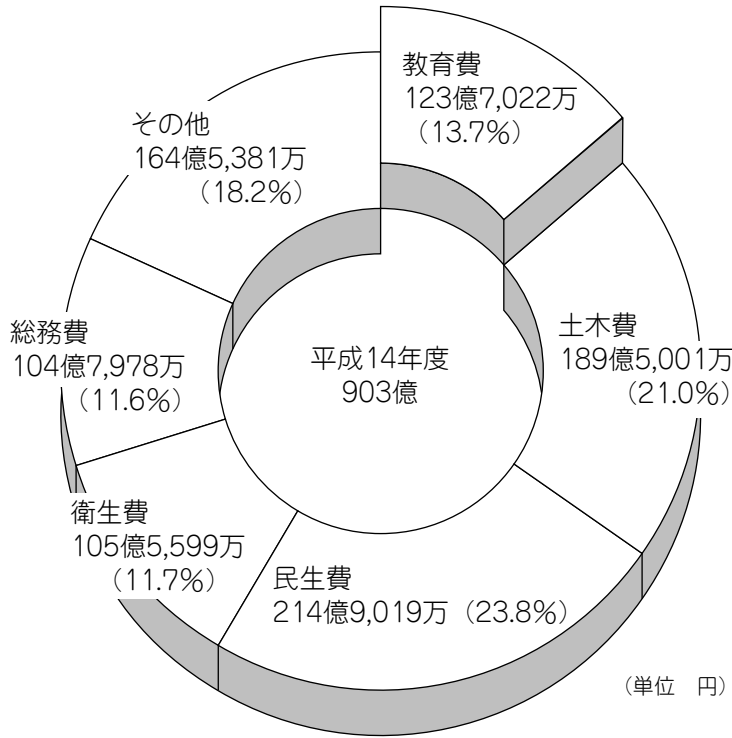


▲自動車や他の熱源の影響を受けず、自然に近い気象条件として設置された観測点
 右の柱上は、10分ごとに計測される風向・風速計



▲天気予報のデータを提供する名古屋地方気象台

〈一般会計予算〉



文化の薫る
人間性豊かなまちづくり

平成十四年度
岡崎市の教育予算

◆平成14年度の特徴◆

小中学校施設の設備	
教室改造	プール建設
屋体建設	屋体耐震補強
校舎建設・造成	
中学校 一校	中学校 一校
小学校 二校	小学校 七校
小学校 一校	小学校 一校



▲校舎増改築 平成13年度完了 (城南小学校)

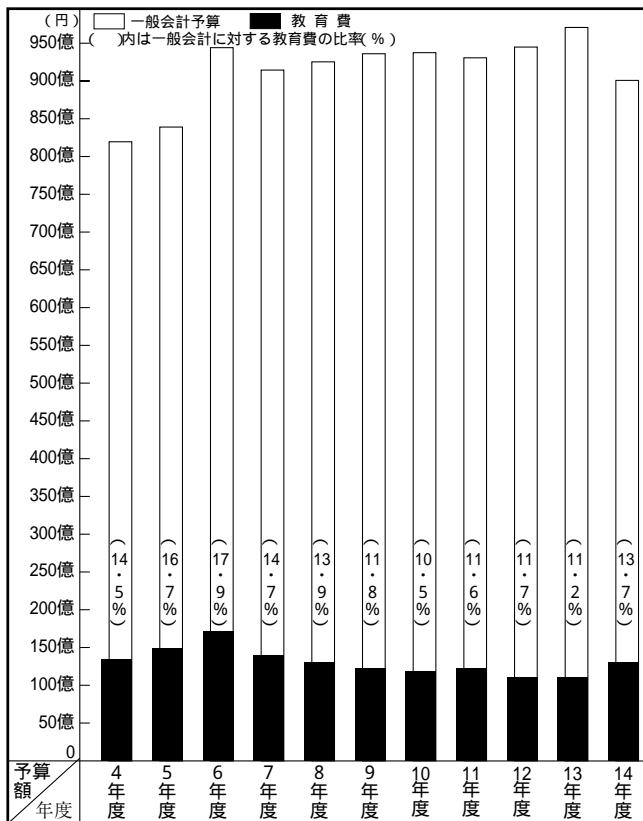


▲園舎建設 平成13年度完成 (広幡幼稚園)

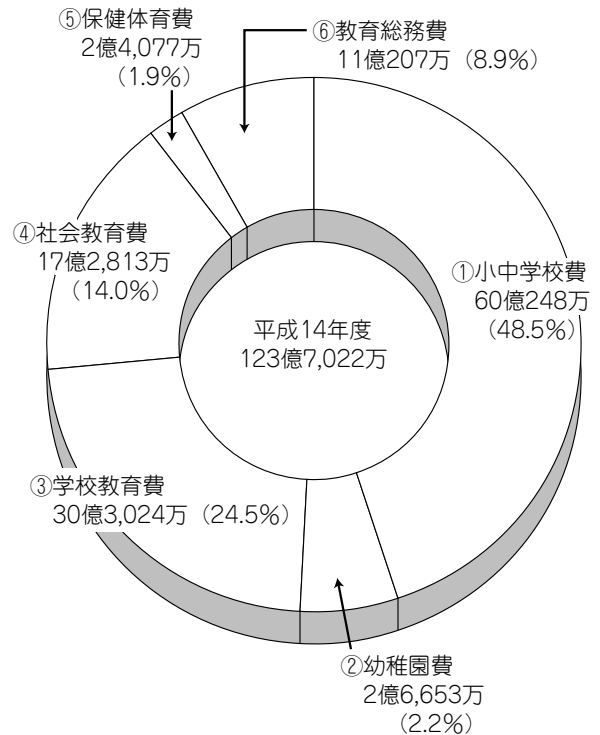


▲プール建設 平成13年度完成 (大樹寺小学校)

◆ 一般会計予算と教育費の推移

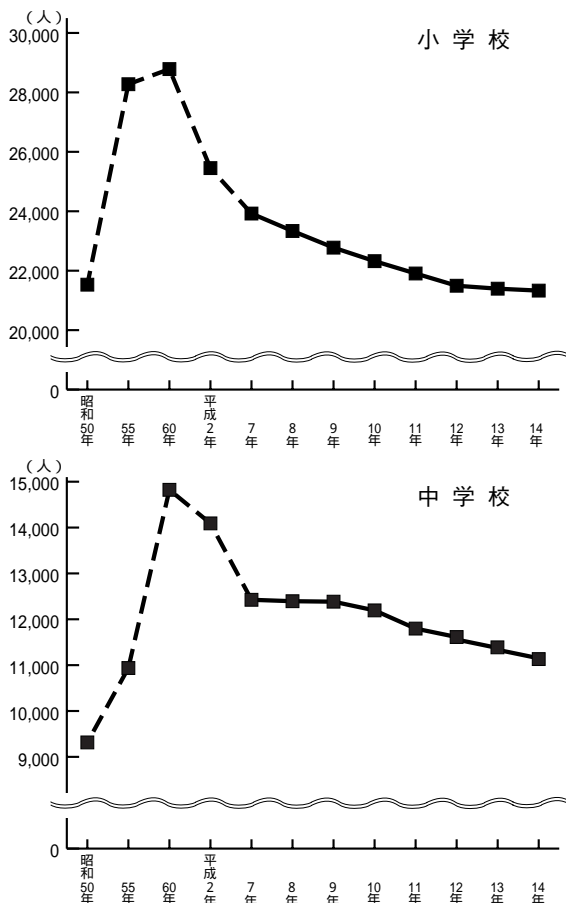


〈教育費の内訳〉



(単位 円)

◆ 児童、生徒数の推移 (数字は毎年5月1日現在)



◆ あらまし ◆

- ①小中学校費
 - ・小学校校内LAN整備事業
 - ・小学校パソコン教室整備事業
 - ・プール建設事業 (愛宕小・常磐中)
 - ・屋体耐震補強(矢作東小他6校、六ッ美中)
 - ・校舎建設, 造成 (常磐中)
 - ・屋体建設 (常磐中・竜海中・六名小)
 - ・教室改造 (甲山中)
- ②学校教育費
 - ・行事開催事業委託及び指導研修
 - ・教育の振興, 研究助成
 - ・児童生徒の健康保持
 - ・小中学校各種スポーツ大会開催
- ③社会教育費
 - ・岡崎市民芸術文化行事開催事業
 - ・図書館の管理運営
 - ・視聴覚ライブラリーの管理運営
 - ・少年自然の家の管理運営
 - ・生涯学習指導事業
 - ・社会教育学級事業
 - ・指定文化財保存事業費補助金
- ④保健体育費
 - ・体育振興事業
- ⑤教育総務費
 - ・私立高校授業料補助金
 - ・岡崎育英会学生会寮運営費補助金
 - ・私立幼稚園就園奨励費補助金
 - ・奨学資金支給, 貸付事業

お知らせ



● 教育最新情報

○ 国際交流の新たな歩み

二十一世紀を迎え、さらなる国際化の進展により、諸外国との交流がますます盛んになってきている。こういった情勢の中、独自の価値観を持ち、それに基づいて生活している世界各国の人々とコミュニケーションを図るときには、単なる言葉のやりとりだけで終わるのではなく、その言葉の背景にある生活習慣や伝統文化、その言葉を使用する人々の価値観まで理解してはじめて心の通い合う相互理解ができる。

国際理解教育の現状

現在、岡崎市では、国際理解教育のために、さまざまな

国との交流活動が行われている。市のレベルでは、「アメリカ合衆国のニューポートビーチ市」、「中華人民共和国の呼和浩特市」、「スウェーデンのウッデバラ市」と海外に三つの姉妹都市・友好都市をもち、特に、中学生は、ニューポートビーチ市と呼和浩特市の两市との交流を続けている。ニューポートビーチ市との交流は、今年で、第二十一回、呼和浩特市とは、第十四回を迎える。毎年、互いの都市を訪問し合い、心温まる交流が深まっている。また、学校レベルでも多くの国際理解教育の取組が進められている。中学校はもちろんのこと、小学校でも、総合的な学習の時間を中心に、ALTを招いて簡単な英会話やゲームなどの活動を通して、国際理解へのきっかけを作っている。また、追究学習でも、いろいろな国の文化を調べる取組もなされている。また、一部の小中学校では、独自に、中国、韓国、インドの学校とeメールや文通、児童生徒作品の交換、相手校の訪問と受け入れなどの交流が始まっている。

新たな国際交流

各学校の交流活動の取組に加えて、市レベルの交流活動で国際理解をさらに深めていこうと、今年度から新たに、「ニュージージーランドのタウランガ市」の派遣が加わった。岡崎市国際交流協会が高校生を対象に派遣してきた経緯もあり、岡崎市とはたいへん関わりが深い都市である。現在交流している北半球にある国々とは異なり、南半球に位置し、新たな文化を体験できる可能性を秘めた国でもある。このタウランガ市には、八つの中学校から代表生徒一名ずつが訪問をすることにより、市内のすべての中学校で生徒

な英会話やゲームなどの活動を通して、国際理解へのきっかけを作っている。また、追究学習でも、いろいろな国の文化を調べる取組もなされている。また、一部の小中学校では、独自に、中国、韓国、インドの学校とeメールや文通、児童生徒作品の交換、相手校の訪問と受け入れなどの交流が始まっている。



▲H13ニューポートビーチ市訪問団
(コロナ・デルマーハイスクールにて)

● 芸術鑑賞会

感性を育む心の教育推進を目指して、本年度も芸術鑑賞会を開催する。

本年度は、ダイナミックな影絵舞台の演劇鑑賞を企画した。小学校全学年を対象に、親子での参加を募る。多くの子供が楽しめるよう、積極的な呼びかけを期待する。

・時 八月二日(金)

午前・午後二回公演

・場所 市民会館

・演題 ジャングル・ブック

(かかし座)

の海外交流が可能になる。加えて、呼和浩特市の訪問を二年生生徒から三年生生徒に変え、三都市訪問をすべて三年生で行うことにした。交流後、派遣された代表生徒が、現地で学習したことや体験したこと、の還元活動を行うことで、市内の全中学生がそれぞれの学校において、一層国際理解を深めることが可能になる。

新しい国際交流のあゆみの中、今年派遣される生徒たちがホームステイ、学校訪問や異文化体験などを通して、どんな交流をし、どんな還元活動を行うのか、今からとても楽しみにしている。



▲H13芸術鑑賞会 (市民会館)

●表 彰

◆第二十五回手づくりの絵はがきコンクール

郵政事業長官賞

井田小四年 大原みなみ

日本郵便友の会協会賞

井田小一年 大原暖太郎

◆第三回浪速武道小中学生近

畿相撲大会

・個人戦中学生の部

三位 南中三年 平田 怜

●小中学校のようす

平成十四年度岡崎市内の小中学校の概要がまとまった。五月一日現在の学校や学級の数、児童・生徒と教職員の数を表に示した。

●学校・学級の規模（市内平均）

	小学校	中学校
一校当たり児童・生徒数	508人	620人
一校当たり学級数	17学級	18学級
一学級当たり児童・生徒数	30人	34人

●学年別児童・生徒数（人）

	小 学 校						中 学 校		
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
男	1,837	1,851	1,799	1,769	1,782	1,806	1,809	1,874	1,960
女	1,745	1,794	1,779	1,712	1,726	1,730	1,751	1,836	1,933
計	3,582	3,645	3,578	3,481	3,508	3,536	3,560	3,710	3,893

●児童・生徒・教職員数

区 分	学校数 (校)	学 級 <特殊> (学級)	児童・生徒 (人)			校長・教職員(人) (非常勤講師を含む)			養護教員 (人)	事務職員 (人)		栄養職員 (人)
			男	女	計	男	女	計	県	県	市	県
小 学 校	42	715<55>	10,844	10,486	21,330	408	637	1,045	42	44	0	9
中 学 校	18	327<25>	5,643	5,520	11,163	408	246	654	21	26	6	2
合 計	60	1,042<80>	16,487	16,006	32,493	816	883	1,699	63	70	6	11
昨年度合計	60	1,040<75>	16,653	16,137	32,790	819	879	1,698	63	69	7	10

●少年自然の家だより

会員制「すぶちネーチャークラブ」の発足

学校週五日制に対応して、今年度からスタートした本所主催事業のひとつである。四季折々の自然を通して、所内の自然をよく知ってもらい、自然に親しんでもらうことを目的としている。さまざま野外体験活動を楽しみながら、会員相互の親睦を図ることも念頭に置き、年七回の活動を計画している。

四月二十七日(土)に、第一回目を開催したところ、小学四年生から中学一年生までの、男女合わせて十九名が参加した。発足式での自己紹介にはじまり、木製の名札作りや落ち葉スキーなどを楽しんだ。一日を共に過ごし、すっかり仲良くなった友達と次回の再会を約束して解散した。

カナニュー艇購入

子供たちに大人気のカニューを一人でも多く体験してもらおうと、カナディアンカヌーを一艇購入した。これで、十

七艇を揃えることになった。この夏、ライフジャケットを身に付け、水しぶきを浴びた子供たちの歓声が乙川にこだますることであろう。



▲カナディアンカヌーに乗って(須淵町)

ゲンジボタルの放流

四月二十三日(火)、河合中学校の生徒が、創作棟北側を流れているゲンジのせせらぎに、百三十四匹の幼虫を放流した。その日の夜には、土まユづくりのために光を放ちながら土手に上がる幼虫の姿を観察することができた。

所員の吉田先生が飼育された約九十四匹も合わせ、六月上旬頃には、ゲンジボタルの乱舞が楽しめそうである。

・カ
ツ
ト

美川中 杉崎秀夫

フォトヒストリー

岡崎の教育

乙川での水泳指導

(昭和42年)

六月に入り、プールで子供たちの大きな歓声が聞かれる季節となった。今年も市内の小中学校のプールで、水泳指導が始まる。

秦梨小学校では、プールができる以前の水泳指導を、学校前の乙川で行っていた。農業用水のための堰が作られていて、一メートルほどの深さがあった。流れもあるため、監視には細心の注意が払われた。ロープが張られ、長い竹ざおを常時持っていた。

今も昔も、水泳指導では、安全が第一であることに変わりはない。



写真提供 秦梨小学校

岡崎の天気予報。以前は信じ難く目もくれない情報だったが、今は信頼のおけるものとなった。

紫陽花の葉が大きく広がり、つぼみが白くなり色つき始めた。以前のように、突然の雨に悩まされることも少なくなりそうな梅雨が予想される。

四月、「おかざき自然体験の森」が八ツ木町に仮オープンされた。ここでは、自然観察だけでなく、炭焼きやキノコ狩り・間伐などが体験できる。学校週五日制実施により、休日によいような体験をすることで、自然から学び、自然を愛する子に育ってほしいものである。

シオ スア

アメダスセンターから配信されるデータをもとに、ここ岡崎の気象情報も作られる。そしてそれらを簡単に手に入れられる時代となった。

手作りのてるてる坊主とパソコンからの情報を見ながら、明日の予定でも立てることにしよう。

好きな本を読みふける子供たち。雨のために外で遊べない日が多いが、その分教室や図書室で静かに本の世界に浸ることができる。いろいろな種類の本を紹介したり、逆に一人の作者にこだわらせたりして、読書の楽しさを子供たちに味わわせていきたい六月である。

この本を

- *カシコギ 趙 昌仁
サンマーク出版 ￥1600
- *常識として知っておきたい日本語 柴田 武
幻冬舎 ￥1300
- *フジ子・ヘミング運命の力
フジ子・ヘミング
TBSブリタニカ ￥1800
- *生きる力もらった 野村 春眠
幻冬舎 ￥1300
- *良寛の四季 荒井 魏
岩波書店 ￥1600
良寛上人は上人とか禅師といった呼び名より、里の子供たちと手まりやかくれんぼに興じる「良寛さん」と呼ぶのが似合っている。だが、良寛さんが初めから良寛さんであったわけではないことは言うに及ばない。「良寛さん」の背後にある良寛像を、良寛ゆかりの地を丹念に訪ね、一つ一つこだわりを持って、少ない資料から物的証拠、状況証拠を検証していく作業に迫力を感じる。良寛の母、思想上の師であった三人の禅師の考証など、探索は多岐にわたっている。